

2017

7/16(日) 13時30分 開始  
16時30分 終了予定



# 食と農の持続的な 発展を考える

人々の暮らしをつなぐ新しい地域のあり方は・・・  
＼未来は自分たちで創り出していく／



講師 菅野 芳秀 氏



**プロフィール** 1949年生まれ。養鶏農家を営む一方、山形県長井市の全世帯を巻き込んだ生ゴミリサイクルのシステム「レインボー・プラン」を実現。置賜自給圏推進機構常任理事。全国に置賜自給圏思想を発信している置賜自給圏広報マン。著書に「玉子と土といのちと」「土はいのちのみなもと 生ゴミはよみがえる」

主催/シニア・ワーカース・コープ仙台  
共催/みどり宮城  
問い合わせ：090-2566-4765(森田)

—農業、食糧生産を経済効率優先の「成長」路線から解き放ち、未来の世代を脅かすことなく、いまある日本型農業を守り、土や海、森を始めとした、命の資源を基礎とする新しい人間社会のモデル、農業を基礎とした循環型社会を広く築き、それをアジアに、世界に示していくことこそが日本の進むべき道ではないかと思うのだ。置賜自給圏はそれを実現しようとする。  
—(置賜自給圏—農の現状から)

「農」を通しての社会の現状と課題、そして具体的な対策についてのお話を伺います。奮ってご参加ください。

■資料代：500円 ※事前申し込み不要

■会場：仙台市民活動サポートセンター  
6階セミナーホール  
(仙台市青葉区一番町四丁目1-3)

